

女流義太夫 人間国宝・文化功労者

南あわじ市名誉市民

第四回 竹本駒之助 南あわじ市公演

かなでほんちゅうしんぐら

「仮名手本忠臣蔵」

大序 鶴が岡兜改めの段 太夫

竹本 駒之助

恋歌の段

竹本 友和嘉

三段目 殿中刃傷の段

三味線

鶴澤 津賀花

裏門の段

鶴澤 友勇

鶴澤 友吉



©福田知弘

令和6年2月23日 金

開場13時 開演14時 (15時20分終演予定)

◆入場料 (全席自由席、未就学児入場不可)  
大人 前売券 2,000 円 / 当日券 3,000 円  
高校生以下 前売券 1,000 円 / 当日券 2,000 円

◆会場 南あわじ市湊地区公民館  
〒656-0332  
兵庫県南あわじ市湊90-1  
お問合せ 竹本駒之助南あわじ市公演実行委員会  
(淡路人形浄瑠璃資料館内)  
TEL 0799-42-5115

チケット販売先  
淡路人形浄瑠璃資料館 TEL0799-42-5115 (月曜定休)  
淡路人形座 TEL0799-52-0260 (水曜定休)

(公財) 淡路人形協会からのお知らせ  
竹本駒之助師匠のご公演の後、休憩をはさみ淡路人形浄瑠璃後継者育成事業として、後継者団体より小学生、中学生、高校生の太夫に一節語っていただき師匠より講評をいただく時間を設けます。お時間を許す方は帰らずにご観覧ください。

主催 竹本駒之助南あわじ市公演実行委員会  
後援 南あわじ市・洲本市・淡路市・南あわじ市教育委員会  
洲本市教育委員会・淡路市教育委員会  
(一社) 義太夫協会



# 「仮名手本忠臣蔵」

かなでほんちゆうしんぐら

## 大序 鶴が岡兜改めの段

### 恋歌の段

### 三段目 殿中刃傷の段

### 裏門の段

太夫	竹本	友和嘉
三味線	鶴澤	友勇
太夫	竹本	友和嘉
三味線	鶴澤	友吉
太夫	竹本	駒之助
三味線	鶴澤	津賀花

「鶴が岡兜改めの段」  
足利尊氏は弟直義を差し向け、新田義貞の遺品の兜を鎌倉鶴岡八幡宮に奉納するため、目利き役として塩冶判官の妻で、元女官の顔世御前を呼び出し兜改めをさせる。

### 「恋歌の段」

その顔世に、執権高師直が艶書を手渡し、しつこく言い寄る。そこへ来合わせた桃井若狭助に邪魔されたので、激昂して若狭助をさんざんに侮辱する。

### 「殿中刃傷の段」

師直は、顔世からの恋のかなわぬ断りの返歌を受け、今度は塩冶判官を鮎待にたとえての意趣返しをする。たまりかねて判官は刃傷に及ぶが、後ろから加古川本蔵に抱きとめられ、仕留めることができず討ち漏らしてしまふ。

### 「裏門の段」

城中はひっくり返るような大騒ぎになる。そのとき塩冶家来早野勘平は持ち場を離れ、腰元のお軽と逢引きしていた。勘平は責任を取って自害しようとするが、お軽に諫められる。二人はひとまずお軽の実家に身を寄せるのだった。



人間国宝  
竹本駒之助

### 南あわじ市出身

- 1949年 大阪にて竹本春駒に入門 文楽の諸師匠方に師事
- 1952年 二代鶴澤三生を相三味線に東京で演奏活動を始める
- 1953年 豊竹つばめ太夫(のちの四代竹本越路太夫)に師事
- 1970年 四代竹本越路太夫の女性唯一の門人となる
- 1980年 重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者に認定
- 1996年 第26回モービル音楽賞受賞
- 1999年 重要無形文化財「義太夫節浄瑠璃」各個認定保持者(人間国宝)に認定
- 2003年 紫綬褒章受章
- 2008年 旭日小綬章受章
- 2009年 第64回文化庁芸術祭優秀賞(レコード部門)を受賞
- 2012年 第61回神奈川文化賞受賞
- 2015年 第70回文化庁芸術祭大賞(音楽部門)受賞
- 2017年 文化功労者に選出
- 2018年 南あわじ市名誉市民に選定

義太夫節保存会会長 (一社)義太夫協会理事

鶴澤津賀花



### 福井県出身

- 1995年 武蔵野音楽大学音楽部音楽学学科卒業
- 1998年 竹本駒之助に入門
- 2001年 国立演芸場にて初舞台
- 2006年 文化庁新進芸術家国内研修員として
- 六代鶴澤燕三に師事
- 2007年 文化庁芸術団体人材育成支援事業研修員
- 義太夫協会新人奨励賞受賞
- 2009年 第十回「邦楽技能者オーディション」合格
- 2011年 第24回清栄会奨励賞受賞
- 2017年 第38回松尾芸能賞新人賞受賞

竹本友和嘉



### 徳島県出身

- 1976年 豊澤町子(母)に師事し、初舞台
- 1996年 鶴澤友路に入門、翌年、竹本友和嘉を名乗る
- 2002年 財団法人人形浄瑠璃因協会奨励賞受賞
- 2009年 財団法人人形浄瑠璃因協会女子部門奨励賞受賞
- 2017年 とくしま芸術文化奨励賞受賞
- 2018年 重要無形文化財「義太夫節」保持者認定(総合認定)

鶴澤友勇



### 南あわじ市賀集出身

- 祖父や父が義太夫節の稽古を受けていた影響で、小学校一年生に福井子供会に入会し、鶴澤友路に師事。三原高校郷土部でも活躍
- 1985年 淡路人形座に入座
- 2000年 人形浄瑠璃因協会奨励賞受賞
- 2013年 第33回伝統文化ポラ賞地域賞受賞
- 2015年 重要無形文化財「義太夫節」保持者認定(総合認定)

鶴澤友吉



### 南あわじ市賀集在住

- 小学校2年生より福井子供会に所属
- 12歳から鶴澤友路に師事
- 1992年 淡路人形座に入座
- 1998年 兵庫県若人の賞受賞
- 2020年 コロナ禍で自らの人生観が変わり淡路人形座を退座
- 2022年 重要無形文化財「義太夫節」保持者認定(総合認定)